

令和6年度

会員総会・講演会を

下記の要領にて

開催いたします。

会員多数のご参加を

お待ちしております。



JR松江駅より●徒歩10分。●松江市営バスまたは一畑バス「天神町」下車、徒歩1分。

●同「天神町中央」下車、徒歩3分。※バスでの復路には「寺町」をご利用ください。

一畑電車松江しんじ湖温泉駅より●松江市営バスまたは一畑バス「寺町」下車、徒歩3分。

2024年7月13日(土) 13:30—16:30

松江市市民活動センター STICビル

5階 501・502研修室(島根県松江市白瀧本町43)

令和6年度年会費のお支払いを受け付けます。

[年会費]一般会員 3,000円、賛助会員 1口5,000円

13:30—14:30

会員総会

- ◆ 令和5年度事業報告・決算報告
- ◆ 令和6年度事業計画・予算協議
- ◆ その他

15:00—16:30

講演会

ラフカディオ・ハーン作品における

群れ・感染症

モーパッサン、ジャック・ロンドンとの関係から

[講師] 藤原まみ氏(山口大学国際総合科学部准教授)

聴講無料

八雲会の会員ではない方もご参加いただけます。
お問い合わせの上、ご来場ください。

ふじわら・まみ……九州大学大学院博士課程修了、博士(比較社会文化)。ワルシャワ大学講師、九州栄養福祉大学講師を経て現職。ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)を主軸に、19・20世紀文学・文化を研究。[主な共著書]『小泉八雲事典』(恒文社)、『続ラフカディオ・ハーン再考——熊本ゆかりの作品を中心に』(恒文社)、『ラフカディオ・ハーン——近代化と異文化理解の諸相』(九州大学出版会)、*Civilization of Evolution. Civilization of Revolution. Metamorphoses in Japan 1900-2000*, Krakow: Manggha Museum of Japanese Art & Technology、『講座小泉八雲 II ハーンの文学空間』(新曜社)。[主な論文]「増殖する雪おんな——「雪おんな」小論」(『ユリカ』1995年4月号)、「合成体としての個——ラフカディオ・ハーンとフランシス・ゴールトンの合成写真」(『比較文学』55巻)、「ラフカディオ・ハーンの怪談——フランシス・ゴールトンの合成写真論とハーンの再話作品「オ・テイの話」」(『文学』2014年7-8月号)。

令和6年度 一般社団法人八雲会 会員総会・ 講演会